

23. 脳卒中患者のうち第2病日までに抗血栓治療を受けた患者の割合

1. 指標について

心原性脳梗塞でない虚血性脳血管障害、または一過性脳虚血発作(TIA)患者では、脳血管障害の再発および他の心血管傷害発生のリスクを軽減するために、抗血小板薬投与が推奨されています。再発予防の観点から、脳梗塞発症早期から抗血小板治療を行う有用性が明らかになっており、適応のある患者には退院時に抗血小板薬投与が開始されていることが望まれます。

2. 当院での定義・計算方法

分子: 「分母」のうち、第2病日までに抗血栓療法を施行された患者数

分母: 脳梗塞かTIAと診断された18歳以上の入院患者数 (DPCベース)

3. 当院の数値

2013年度 **76.1%**